教科名	国　語　科	科　目　名	講　　読
対象学年	中学１年	コース・選択	——
単位数	週３時間	教　科　書 （出版社）	現代の国語１（三省堂）
使用教材	「よくわかる国語の学習」（明治図書）、「愛知県版国語便覧」（浜島書店） 「ステップ別常用漢字」（浜島書店）、「夏期テキスト」（文理）		
学習のねらい	文学的文章や説明的文章、詩歌などの様々な表現について、その内容を正確に読み取り、鑑賞することができる。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い	留　意　点
	４月 ５月	・竜（物語） ・ペンギンの防寒着（説明文） ・弁論作文	・主人公の成長を通して自分の生き方を考える。 ・説明文の基本的構成を理解し、それをさらに発展させた形での読み取りを学ぶ。	・物語文、説明文の特徴をとらえて読む。
	６月 ７月	・クジラの飲み水（説明文） ・字のない葉書（随筆）	・父親の娘に対する不器用な愛情表現を読み取る。戦時中の人びとの生活を知る。	・人物の心情を深く掘り下げて読む。
	９月 10月	・空中ブランコ乗りのキキ（物語） ・月を思う心 ・竹取物語（古文）	・主人公が追求しているものを通して人間の生き方について考える。 ・古文の仮名遣いなどの表現をに慣れ親しむ。日本最古の物語文学を味わう。	・時代による文化の違いを比較検討する視点を持つ。 ・平安時代の人々の生活、考え方にふれる。

学習の留意点・評価など	・主題を正確にとらえ、一つの理解に対して文章中にその根拠を持って説明できるような力を養い、確認する。
備　考	

	学期・月等	単　　元	ね　ら　い	
学習内容と流れ	11月 12月	・玄関扉（説明文） ・矛盾（漢文）	・玄関扉の国による違いを通して、その背景にある文化というものを理解する。 ・漢文の返り点を理解し、訓読、訳ができるようにする。 故事成語を理解する。	・国や地域による文化の違いを比較検討する視点を持つ。 ・日本文化における漢文の位置づけを知る。
	1月	・意味と意図（説明文）	・説明文の構成をふまえて、比較される二つの対象の、共通点、相違点を理解する。	・コミュニケーションにおける表現の仕方の大切さを理解する。
	2月 3月	・少年の日の思い出（小説）	・主人公や登場人物の人物像や心の動きをとらえる。 ・主人公の人間関係を読み取り、	・工夫された表現を味わい、人間の心の深い部分を読み取る。
学習の留意点・評価など		・説明文、文学的文章ともに、さらに深めた読み取りをめざす。 ・古文・漢文の表現、日本文化における意義を理解する。		
備　考				

教科名	国　語　科	科　目　名	文　　法
対象学年	中学１年	コース・選択	——
単位数	週１時間	教　科　書 （出版社）	
使用教材	中学国文法のドリル（吉野教育図書）・ロジカル国語表現Ⅰ（好学出版）		
学習のねらい	これまで学習してきた日本語の断片的な知識を整理し、正しく理解する。また、文章を正確に読み取り、わかりやすい文章を書くなど、言語感覚を磨く。 論理的思考力と創造的表現力を育てるため、「ロジカル国語表現Ⅰ」を用いて、論理の仕組みを基本から学ぶ。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い	留　意　点
	４月	〔口語文法〕 ・言葉の単位 ・文の組み立て	・文節、単語などの言葉の基本的な単位を理解する。 ・文節と文節の関係やその働きを理解する。 ・単語がその性質や働きによって品詞に分けられることを知る。	・日常生活の中で、何気なく使っている言葉が、一定の決まりに従って用いられているものであることを、観察や反省を通じて発見し、理解する。
	５月	↓		
	６月	・単語の種類	↓	
	７月	〔ロジカル国語表現Ⅰ〕 ・単元１～３	・言葉の使い方、文の組み立てを学び、書くことの基礎を身につける。	
	９月	〔口語文法〕 ・用言	・各品詞の特徴、特に活用について理解する。	
	10月	↓		
	11月	↓		
	12月	↓		
	１月	↓		
	２月	〔ロジカル国語表現Ⅰ〕 ・単元４～７	・接続語、因果関係、具体と抽象、対比、文章の構成から論理のしくみを学ぶ。	
	３月	↓		

学習の留意点・評価など	「読む」「書く」「聞く」「話す」などの日常生活の上で文法（ことばのきまり）を理解し、論理的な文章を書く力をつけることができたか。
備　考	

教科名	国　語　科	科　目　名	講　　読
対象学年	中学２年	コース・選択	——
単位数	３単位	教　科　書 （出版社）	現代の国語２（三省堂）
使用教材	「よくわかる国語の学習」（明治図書）　「ステップ別常用漢字」（浜島書店） 「愛知県版国語便覧」（浜島書店）　「夏期テキスト」（文理）		
学習のねらい	一年次に得た日本語に関する知識を基にさらに理解を深め、適切に表現する能力を養うことによって広く言語感覚を高めるとともに、日本文化について豊かに学ぶ姿勢を育てることを目標とする。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	4月 5月	「名づけられた葉」（詩） 「人間は他の星に住むことができるのか」（説明） 「短歌の世界」（解説） 「短歌十首」（短歌）	・リズムを感じながら音読し、表現の効果を考え、詩に込められたものの見方を捉える。 ・文章を読み、構成や論理の展開とその効果について考える。 ・リズムや表現方法など、短歌についての理解を深め、情景や心情を表す語句に注意して短歌を読み味わう。
	6月 7月	「徒然草」（古文） 「共生社会に関するデータ」（図表） 「自立とは『依存先をふやすこと』」（解説） 「100年後の水を守る」（評論）	・自然や人間に対する筆者の感じ方を捉える ・古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ自分の考えを深める。
	9月 10月	「走れメロス」（小説） 「漢詩の世界」（漢文）	・人物の言動の意味を考え、人物像とその変化を捉える。工夫された表現に着目して、文体の特徴を捉えて読み味わう。 ・漢詩の表現やリズムを捉え、読み味わう。漢詩に描かれた情景を捉え、古人の心情を想像する。
	11月 12月	「平家物語」（古文） ・巻末の「那須与一」にも触れる 「水田のしくみを探る」（説明）	・語句の意味に注意しながら音読し古典のリズムを味わう。場面や状況を捉え、登場人物の考え方について、自分の考えを持つ。 ・文章と図表などを結びつけて筆者の考えを捉える。文章を読んで理解したことと知識と経験とを結びつけ、考えを広げる。
	1月 2月 3月	「壁に残された伝言」（報告） 「大阿蘇」（詩） 「枕草子」（古文）	・文章全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。文章を読んで理解したことと知識と経験とを結びつけ、筆者の平和への思いを理解し、考えを深める。 ・詩の表現方法とその効果を理解し、描かれた情景を読み取る。眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。 ・自然や人間に対する筆者の感じ方を捉える ・古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。

教科名	国　語　科	科　目　名	口語文法・書写
対象学年	中学２年	コース・選択	―――
単位数	１単位	教　科　書 （出版社）	現代の書写一二三（三省堂）
使用教材	ロジカル国語表現Ⅰ（好学出版） 中学国文法のドリル（吉野教育図書）		
学習のねらい	・正確な理解と的確な表現力を身につけるために断片的な文法の知識を系統的に学習し、それぞれの品詞の働きと意味について理解する。（口語文法） ・文字を正しく整えて書くことができるように行書の習得をするとともに、文字感覚の育成と書写能力を日常生活に役立てられることを目指す。（書写） ・論理的思考力と創造的表現力を育てるためテキストを使って、論理を利用し実践的な文章が書けるようにする。		

	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
学習内容と流れ	4月 5月	【口語文法】 １年生の復習 品詞分類・用言・その他	・品詞分類や用言の活用について理解する。
	6月 7月	【口語文法】 助詞 （試験後） ロジカル国語表現（理論の利用）	・助詞について理解し、適切に用いることができるようにする。
	9月 10月	【口語文法】 助動詞	・助動詞について意味や用法を理解し、適切に用いられるようにする。
	11月 12月	【口語文法】 助動詞 敬語の用法 紛らわしい品詞の見分け方 （試験後） ロジカル国語表現（理論の実践）	・助動詞について意味や用法を理解し、適切に用いられるようにする。 ・敬語の意味や用法を正しく理解し、生活の中で用いられるようにする。 ・紛らわしい品詞について理解する。
	1月 2月 3月	【書写】 １．行書の学習 行書の筆づかいと字形 ・点画の連続、点画の変化と省略（硬筆） ２．いろは歌（毛筆） ３．ちらし書き（毛筆）	・正しい姿勢で心を集中させて、丁寧に文字を書く。 ・筆づかい、行書特有の書き順などに触れ、書写に親しむ。 ・文字の配置や大きさを考える。 ・書写が日常生活の中で役立てられるようにする。
学習の留意点・評価など			

教科名	国　語　科	科　目　名	講　　読
対象学年	中学３年	コース・選択	——
単位数	週３時間	教　科　書 （出版社）	現代の国語３（三省堂）
使用教材	「よくわかる国語の学習3」（明治図書） 「愛知県版国語便覧」（浜島書店）　　「ステップ別常用漢字」（浜島書店） 「夏期テキスト」（文理）		
学習のねらい	・漢字、語句、文法などの基礎的事項を身につける。 ・筆者の主張や登場人物の心情などを作品から読み取り、自分なりの意見や考えをもつ。 ・自分の考えをまとめ発表しあう力をつける。 ・古典の作品を通して、古人の心情などを読み取る。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い	留　意　点
	1学期 中間 テスト	パブリックスピーキング （聞く・話す） 弁論大会の原稿書き 岩が（詩） 握手（小説）	・詩に込められた作者の意図を捉え、自分の意見を持つ。 ・文学作品から作者の考えや感性を読み取り、理解力・表現力を高める。 ・過去の歴史を学び平和について考える。 ・論説文や説明文などを読み、筆者の意図をくみ取る。 ・俳句について理解を深め、味わう。	・詩・物語文、説明文の特徴をとらえて読む。 ・平和についての感性を育てる。 ・俳句のきまりや特徴を知り、俳句の世界を味わう。
	期末 テスト	「ありがとう」と言わない重さ（随想） わたしが一番きれいだったとき（詩） 俳句の世界・俳句十句 希望（随想） （テスト後の授業も）		
	2学期 中間 テスト	情報化社会を生きる、メディアリテラシー・広告の読み比べ 初恋（詩） 間の文化（評論）	・情報の信頼性を含め、メディアとの関わり方について考える。 ・古典的な価値をもつ韻文を味わい、香り高い日本文学に触れる。 ・「間」をテーマに、日本文化について関心を高め理解を深める。 ・筆者の主張や登場人物の心情などを作品から読み取り、自分なりの意見や考えをもつ。	・評論から日本文化について学び、味わう。 ・現代の問題についての筆者の考えを理解する。 ・人間・社会・自然などについて、自分の意見を持つ。
	期末 テスト テスト後	フロン規制の物語（論説） 坊ちゃん（小説） 高瀬舟（読書の広場）		
	3学期 期末 テスト	「文殊の知恵」の時代 （論説） 故郷（小説）	・論説文を読み、筆者の主張を捉え、自分の考えを持つ。 ・作者の心情を読み取るとともに、小説の時代背景について理解する。	・文学を読み味わい、楽しむことを経験する。 ・人間・社会・自然などについて、自分の意見を持つ。

学習の留意点・評価など	・漢字、語句、文法などの基礎的事項の定着を促す。 ・文章の種類と特徴を考え、中心となる主張や心情を捉えられるようにする。 ・補助教材や写真、映像などを用い、教材を実感に近づけるようにする。
備　考	

教科名	国　語　科	科　目　名	古　　典
対象学年	中学３年	コース・選択	——
単位数	週１時間	教　科　書 （出版社）	現代の国語３（三省堂）
使用教材	「よくわかる国語の学習３」（明治図書） 「古典文法クリアノート」（尚文出版） 「国語便覧（愛知県版）」（浜島書店）		
学習のねらい	・古典の文学世界を知り、古典に親しむ態度を養う。 ・文語文法の入り口に触れ、古文読解理解への足がかりを考えさせる。		

学習内容と流れ	学期・月等		単　　元	ね　ら　い
	４月 ５月 ６月 ７月	中間	・五十音図といろは歌 ・歴史的かなづかい ・動詞（四段活用）	・歴史的かなづかい ・品詞、活用形の確認 ・動詞の学習（四段活用）
		期末	動詞（その他の活用）	・動詞の学習（その他の活用） ・「係り結びの法則」
	９月 10月 11月 12月	中間	万葉・古今・新古今	・動詞の復習、定着 ・和歌の技法
		期末	論語	・漢文訓読の確認と練習
	１月 ２月 ３月	学年末	おくのほそ道 　　月日は・平泉・（立石寺） （2022年度３年生は中２で「春望」既習）	・形容詞・形容動詞の学習 ・用言の復習、定着

学習の留意点・評価など	文語文法の習得を基盤に据え、古典文学作品の読解を無理なく関わらせてゆく。 また、文法習得のための練習問題は適宜用意し、利用する。
備　考	

教科名	国　語　科	科　目　名	現代の国語
対象学年	高校１年	コース・選択	必　　修
単位数	２単位	教　科　書 （出版社）	精選現代の国語（第一学習社）
使用教材	入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700（浜島書店） プレミアム国語便覧（数研出版）		
学習のねらい	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばす。 ・他者とのかかわりの中で、表現する力及び協働性を高めるとともに、自分の考えを広げ、深めることが出来るようにする。 ・実用文（図表を含む）など様々な分葉を読み慣れると共に、複数のテキストを関連させて理解する力を養う。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	４月	「『本当の自分』幻想」 平野啓一郎 【自己と他者】	①内容や構成・論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ②筆者の主張する「個人」とはどのようなものかおさえる。
	５月	『砂に埋もれたル・コルビュジエ』 原田マハ	①現在と過去の交錯を、段落ごとの関係から読み取り、内容を的確に把握する。 ②登場人物の心情を把握する。 ③戦時中の状況について理解を深める。
	６月	「水の東西」 山崎正和 【比較文化論】	①対比されている東西文化の違いについて読み取る。 ②文化論への関心を持つ。
		「間の感覚」 高階秀爾 【日本文化論】	①二項対立及び、例を的確に読み取り、筆者の主張へと集約させる読解方法を習得する。 ②日本人の意識構造や、日本の伝統について認識を深める契機とする。
	７月	実用的文章	表やグラフなどを含む実用的文章の読み取りの方法を学ぶ。
	９月	「現代の『世論操作』」 林　香里 【情報・メディア】	①内容や構成・論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ②情報操作の具体例を通して、筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きるものとしての問題意識を持つ。
	10月 11月	『羅生門』 芥川龍之介	①登場人物の性格・心理・行動を、場面の展開に即して読み取る。 ②典拠となった『今昔物語集』の説話を読み、比較をする。
	12月	「生物の多様性とは何か」 福岡伸一 【生物・生命倫理・環境】	①キーセンテンスや独自の表現に注意して筆者の考えを読み取る。 ②生物多様性や生命倫理の考え方を理解する契機とする。
		「こころの帆」 【俳句】	①日本の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	1月 2月	『城の崎にて』 志賀直哉	①作者が体験した心境小説であることを踏まえ、独自の死生観を読み深める。 ②作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。
	3月	実用的文章	表やグラフなどを含む実用的文章の読み取りの方法を学ぶ。
学習の留意点・評価など		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 適宜、演習問題を行い実践的な力を養う。	
備　考			

教科名	国　語　科	科　目　名	言 語 文 化
対象学年	高校１年	コース・選択	必　　修
単位数	２単位	教　科　書 （出版社）	精選言語文化（第一学習社）
使用教材	基礎学習システム必修古文（数研出版） 基礎学習システム必修古文演習ノート（数研出版） 基礎から解釈へ 漢文必携（桐原書店） 基礎から解釈へ 漢文必携チェックノート（桐原書店） 解析古典文法（桐原書店） 読んで見て覚える古文単語３１５(桐原書店） プレミアム国語便覧（数研出版）		
学習のねらい	・上代から近現代につながる作品への理解を深め、親しむと共に、自身の考えを深める。 ・文法事項を土台とすると同時に、古典文化の背景をもとにしながら、作品を読解する力を育成していく。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	４月	【古文】 「児のそら寝」『宇治拾遺物語』	古文に親しみ、読解の方法をおさえる。 動詞・形容詞・形容動詞 助動詞「ず」「けり」「き」/助詞「ど」「もぞ」「なーそ」/頻出語
	５月	【漢文】 漢文入門	漢文の基本的な構造を理解する。 書き下し文・置き字・再読文字
	６月	【古文】 「東下り」『伊勢物語』	歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 和歌の修辞法 助動詞「つ」「ぬ」「たり」「なり」「り」「む」「むず」
	７月	【漢文】 「漁夫の利」『戦国策』	句型理解 →「且」「将」「不肯」など 重要語の確認 →「臣」「方」など 故事成語を理解する
	９月	【古文】 「九月二十日のころ」『徒然草』	随筆として、作者の価値観を捉える。 →助動詞「まし」「べし」など 敬語の基礎を理解する 動作の主体を明らかにして本文を読解する
	10月	【漢文】 「狐借虎威」『戦国策』	故事成語を理解する。 句形理解→使役/否定/禁止/反語 重要語の確認
	11月 12月	【古文】 「木曽の最期」『平家物語』	軍記物語の特色を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 助動詞の総復習 音便/敬語（敬意の方向）の理解

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	1月	【漢文】 「先従隗始」『十八史略』	史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理をおさえる。 句形理解→使役/抑揚/比較/反語 重要語の確認
	2月	【古文】 「門出」『土佐日記』	記録としての日記とは異なる表現方法と随筆意図を読み解く。 用言・助動詞の総復習/紛らわしい語の識別（「ぬ」「なり」）
	3月	【漢文】 『論語』	句形理解 →再読文字等の復習 孔子の思想の特色や考えを理解する
学習の留意点・評価など		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 適宜、演習問題を行い実践的な力を養う。	
備　考			

教科名	国　語　科	科　目　名	論 理 国 語
対象学年	高校２年	コース・選択	コースⅠ・Ⅱ・Ⅲ
単位数	２単位	教　科　書 （出版社）	標準論理国語（第一学習社）
使用教材	・プレミアムカラー国語便覧（数研出版） ・入試漢字と現代文重要語キーワード漢字２７００（浜島書店） ・ちくま文学講読上級編（筑摩書店）		
学習のねらい	・文章の構成や展開の仕方を論理的に分析する活動を通して、論理的に考える力を伸ばし、自分の考えを筋道だてて表現する力を育成する。 ・他者とのかかわりの中で、表現する力及び協働性を高めるとともに、自分の考えを広げ、深めることが出来るようにする。		

	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
学習内容と流れ	４月	（評論）稲垣栄洋 進化が導き出した答え 【生物多様性】	生物の進化における多様性について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。
	５月 ６月	（小説）中島敦 『山月記』	表に現れたものでは知り得ない、人間存在の内奥について考え、小説の構造をなす事項（時・場・人物・事件設定）や人物の心理を的確に読み取る。
	７月	（詩歌）宮澤賢治 「永訣の朝」	リズムや語感を味わいながら詩を読み、言語感覚を磨く。比喩の効果を理解し、想像力を育成する。近代詩が与えた影響と、詩人の生き方を考える。
	９月	（評論）阿刀田高 「犬も歩けば棒に当たる」 【言語論】	１つのことわざについて複数の解釈を提示する文章を読んで、日本語の多様性について理解を深める。
	10月 11月 12月	（小説）夏目漱石 『こころ』	登場人物の心理的変化を正確に読み取り、明治という時代の制度や理念などを調べ、登場人物の行動を読み取る中から、人間の精神のあり方について考える。
	１月	（評論）榎本博明 鏡としての他者 【自己と他者】	文章構造をもとに、筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。
	２月 ３月	（評論）長谷川眞理子 「ヒトはなぜヒトになったか」 【人間と文化】	因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を理解する。
学習の留意点・評価など	・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 ・【コースⅡ・コースⅢ】適宜、演習問題を行い実践的な力を養う。		

教科名	国　語　科	科　目　名	古 典 探 究
対象学年	高校２年	コース・選択	コースⅠ・Ⅲ
単位数	２単位	教　科　書 （出版社）	古典探究古文編（第一学習社） 古典探究 漢文編（第一学習社）
使用教材	解析古典文法 三訂版（桐原書店） プレミアム国語便覧（数研出版） 基礎学習システム 必修古典（数研出版） 基礎学習システム 必修古典演習ノート（数研出版） 基礎から解釈へ 漢文必携（桐原書店） 基礎から解釈へ 漢文必携チェックノート（桐原書店） 読んでみて覚える重要古文単語315（桐原書店）		
学習のねらい	・上代から近現代につながる作品への理解を深め、親しむと共に、自身の考えを深める。 ・文法事項を土台としながら、作品を読解する力を育成していく。 ・3年生に向け実践的な力を養う。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	４月	【古文】 「歌ゆゑに命を失ふ事」『沙石集』	・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えようとした歌人のありようについて考えを深める。 ・助動詞の総復習をする。 ・和歌の技法をおさえる。
	５月	【漢文】 呉越同舟	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・「使役」「疑問」
	６月	【古文】 「門出」『更級日記』	・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・文法事項及び重要古語をおさえる。
	７月	【漢文】 「四面楚歌」『史記』	・追い詰められていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。 ・「仮定」「反語」「疑問」

	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
学習内容と流れ	９月	【古文】 「初冠」『伊勢物語』	・文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴を理解しながら、内容を読解する。 ・古文常識をおさえる。 ・文法事項及び重要古語をおさえる。
	10月	【漢文】 「売鬼」『捜神記』	・一般的なイメージとは異なる幽霊についての話を読み、古代中国の人々の超常的な存在に対する見方に触れる。 ・「疑問」「否定」「限定」「禁止」
	11月	【古文】 「若紫」『源氏物語』	・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を理解する（敬語・敬意の方向）。 ・文法事項及び重要古語をおさえる。
	12月	【漢文】 漢詩の鑑賞	・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。
	１月	【古文】 「道長の豪胆」『大鏡』	・『大鏡』の特徴を理解する。 ・敬語表現及び文法事項の総復習をする。
	２月	【漢文】 諸家の思想	・古代中国思想に対して理解を深める。 ・訓読の決まりについて総復習する。
学習の留意点・評価など		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 適宜、演習問題を行い実践的な力を養う。	
備　考			

教科名	国　語　科	科　目　名	古典探究
対象学年	高校２年	コース・選択	コースⅡ
単位数	３単位	教　科　書 （出版社）	古典探究 古文編（第一学習社） 古典探究 漢文編（第一学習社）
使用教材	解析古典文法 三訂版（桐原書店） プレミアム国語便覧（数研出版） 基礎学習システム 必修古典（数研出版） 基礎学習システム 必修古典演習ノート（数研出版） 基礎から解釈へ 漢文必携（桐原書店） 基礎から解釈へ 漢文必携チェックノート（桐原書店） 読んでみて覚える重要古文単語315（桐原書店）		
学習のねらい	・上代から近現代につながる作品への理解を深め、親しむと共に、自身の考えを深める。 ・文法事項を土台としながら、作品を読解する力を育成していく。 ・3年生に向け、入試問題演習などに適宜触れることにより、実践的な力を養う。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	4月	【古文】 「歌ゆゑに命を失ふ事」『沙石集』	・著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えようとした歌人のありようについて考えを深める。 ・助動詞の総復習をする。 ・和歌の技法をおさえる。
	5月	【漢文】 呉越同舟	・現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・「使役」「疑問」
		【入試演習】	演習問題に触れて実践的な力を養う。
	6月	【古文】 「門出」『更級日記』	・晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・文法事項及び重要古語をおさえる。
	7月	【漢文】 「四面楚歌」『史記』	・追い詰められていく項王の心境を読み取り、人間の生き方についての考えを深める。 ・「仮定」「反語」「疑問」
		【入試演習】	演習問題に触れて実践的な力を養う。
	9月	【古文】 「道綱鷹を放つ」『蜻蛉日記』	・日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・古文常識を押さえながら本文を解釈する。 ・助動詞の総復習をする。
	10月	【漢文】 「売鬼」『搜神記』	・一般的なイメージとは異なる幽霊についての話を読み、古代中国の人々の超常的な存在に対する見方に触れる。 ・「疑問」「否定」「限定」「禁止」
		【入試演習】	演習問題に触れて実践的な力を養う。
	11月	【古文】 「若紫」『源氏物語』	・内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を理解する（敬語・敬意の方向）。 ・文法事項及び重要古語をおさえる。

	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
学習内容と流れ	12月	【漢文】 「人面桃花」	・登場人物の心情をおさえながら、本文の内容を読解する。 ・「疑問」「部分否定」「反語」
		【入試演習】	演習問題に触れて実践的な力を養う。
	1月	【古文】 「道長の豪胆」『大鏡』	・『大鏡』の特徴を理解する。 ・敬語表現及び文法事項の総復習をする。
	2月	【漢文】 ・漢詩 ・諸家の思想	・漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・古代中国思想に対して理解を深める。 ・訓読の決まりについて総復習する。
		【入試演習】	演習問題に触れて実践的な力を養う。
学習の留意点・評価など		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点から総合的に評価をおこなう。 適宜、演習問題を行い実践的な力を養う。	

教科名	国　語　科	科　目　名	現 代 文 B
対象学年	高校３年	コース・選択	コースⅠ
単位数	３単位	教　科　書 （出版社）	精選現代文B（東京書籍）
使用教材	・精選現代文B（東京書籍） ・キーワード漢字2700（浜島書店） ・最新国語便覧（浜島書店）		
学習のねらい	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、進んで表現する力を育てる。他者に意見を伝え、他者の意見を傾聴することで、対話の中で新たな考えを身に着ける。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	４月	（評論） 文学の未来	・本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。 ・抽象的な事柄を論じた評論を読み、考えを深める。
	５月	（小説） 檸檬	・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。
	６月	（随想） 言葉を生きる	・筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について関係を深める。
	７月 ９月 10月 11月	（小説） 舞姫	・時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 ・ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。
	12月 １月	（評論） 原始社会像の真実	・時間的に異なる世界を題材とした文章を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。
学習の留意点・評価など	提出物への取り組み・授業中の態度・グループ活動など、様々な方面から評価する。 適宜入試問題の演習を取り入れていく。		

教科名	国　語　科	科　目　名	現 代 文 B
対象学年	高校３年	コース・選択	コースⅡ
単位数	３単位	教　科　書 （出版社）	精選現代文B（東京書籍）
使用教材	・精選現代文B（東京書籍） ・入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700（浜島書店） ・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）		
学習のねらい	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、進んで表現する力を育てる。他者に意見を伝え、他者の意見を傾聴することで、対話の中で新たな考えを身に着ける。共通テスト及び各種大学入試を見据えて適宜演習等を行い、入試に向けて実力を養う。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	４月	（評論） 文学の未来	・本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。 ・抽象的な事柄を論じた評論を読み、考えを深める。
	５月	（小説） 檸檬	・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。
	６月	（評論） 言葉を生きる	・筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について考えを深めて行く。
	７月 ９月 10月	（小説） 舞姫	・時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 ・ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。
	11月 12月	（評論） 原始社会像の真実	・時間的に異なる世界を題材とした文章を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。
		入試問題演習	・各種入試問題を通して、実践力を養う。

学習の留意点・評価など	提出物への取り組み・授業中の態度・グループ活動など、様々な方面から評価する。 適宜入試問題の演習を取り入れていく。

教科名	国　語　科	科　目　名	現 代 文 B
対象学年	高校３年	コース・選択	コースⅢ
単位数	２単位	教　科　書 （出版社）	精選現代文B（東京書籍）
使用教材	・精選現代文B（東京書籍） ・入試漢字と現代文重要語キーワード漢字2700（浜島書店） ・プレミアムカラー国語便覧（数研出版）		
学習のねらい	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、進んで表現する力を育てる。他者に意見を伝え、他者の意見を傾聴することで、対話の中で新たな考えを身に着ける。共通テスト及び各種大学入試を見据えて適宜演習等を行い、入試に向けて実力を養う。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	４月	（評論） 文学の未来	・本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。 ・抽象的な事柄を論じた評論を読み、考えを深める。
	５月	（小説） 檸檬	・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。
	６月	（評論） 言葉を生きる	・筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について考えを深めて行く。
	７月 ９月 10月	（小説） 舞姫	・時代背景に注意しながら、主人公の心の葛藤を読み取り、人間の生き方について考える。 ・ものの見方・感じ方・考え方を広げたり、深めたり、特に近代日本と個人の生き方との関係について考える。
	11月 12月	（評論） 原始社会像の真実	・時間的に異なる世界を題材とした文章を読み、社会の変遷を捉える見方を身につける。
		入試問題演習	・各種入試問題を通して、実践力を養う。

学習の留意点・評価など	提出物への取り組み・授業中の態度・グループ活動など、様々な方面から評価する。 適宜入試問題の演習を取り入れていく。

教科名	国　語　科	科　目　名	古　典　B
対象学年	高校３年	コース・選択	コースⅠ
単位数	２単位	教　科　書 （出版社）	精選古典Ｂ 古文編・漢文編（東京書籍）
使用教材	○最新国語便覧（浜島書店） ○チャート式必修古文・古文ノート（数研出版） ○漢文必携・チェックノート（桐原書店） ○標準古典文法(第一学習社) ○読んで見て覚える古文単語３１５(桐原書店）		
学習のねらい	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	４月	（古文） 徒然草「家居のつきづきしく」	随筆文学が作者の自由な目で記されたものであり、題材・文体が多岐にわたることを理解する。隠者文学としての『徒然草』の文学史的位置を理解する。
	５月	（漢文） 三国志「赤壁之戦」	『三国志』の特徴を理解する。語句や句法を理解し、的確に現代語訳する。文脈に即して、内容や人物について理解する。
	６月	（古文） 日記「和泉式部日記」	日記の概要、和泉式部が勅撰集入集歌の多い有名な歌人であることを学ぶ。作者のことが「女」と記される理由を考え、この日記の特徴を理解する。
	７月	（漢文） 漢詩	唐詩（近体詩）の基本となる規則と特徴を復習する。詩にうたわれた状況を理解する。詩の表現のおもしろさを理解する。
	９月	（古文） 物語「源氏物語：車争ひ」	『源氏物語』に関する知識を確認する。『源氏物語』の世界や表現のすばらしさを考える。車争いの要因となった状況を把握する。六条の御息所の心情を理解する。
	10月	（漢文） 白楽天「長恨歌」	「長恨歌」の時代背景を理解する。全体のあらすじを捉える。『源氏物語』への影響を考える。
	11月	（古文） 物語「落窪物語」	王朝文学としての『落窪物語』について成立時期、内容について理解する。作品紹介などを利用して、もの物語の概要を把握する。
	12月	（漢文） 思想「人間論」	諸子百家について概略を理解する。儒家の学問観について理解する。
	１月	（古文） 俳諧：芭蕉	五七五の短詩形文学の俳句の源流が江戸時代にあることを知り、芭蕉が俳諧文学に残した足跡を知る。芭蕉の俳諧を読み味わう。

学習の留意点・評価など	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深める。 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考え方を深め、発展させる。 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付ける。

教科名	国　語　科	科　目　名	古　　典
対象学年	高校３年	コース・選択	コースⅡ
単位数	３単位	教　科　書 （出版社）	精選古典Ｂ 古文編・漢文編（東京書籍）
使用教材	○最新国語便覧（浜島書店） ○チャート式必修古文・古文ノート（数研出版） ○漢文必携・チェックノート（桐原書店） ○標準古典文法(第一学習社) ○読んで見て覚える古文単語３１５(桐原書店)		
学習のねらい	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	４月	（古文） 徒然草「家居のつきづきしく」 演習	随筆文学が作者の自由な目で記されたものであり、題材・文体が多岐にわたることを理解する。隠者文学としての『徒然草』の文学史的位置を理解する。
	５月	（漢文） 三国志「赤壁之戦」 演習	『三国志』 の特徴を理解する。語句や句法を理解し、的確に現代語訳する。文脈に即して、内容や人物について理解する。
	６月	（古文） 日記「和泉式部日記」 演習	日記の概要、和泉式部が勅撰集入集歌の多い有名な歌人であることを学ぶ。作者のことが「女」と記される理由を考え、この日記の特徴を理解する。
	７月	（漢文） 漢詩 演習	唐詩（近体詩）の基本となる規則と特徴を復習する。詩にうたわれた状況を理解する。詩の表現のおもしろさを理解する。
	９月	（古文） 物語「源氏物語：車争ひ」 演習	『源氏物語』に関する知識を確認する。『源氏物語』の世界や表現のすばらしさを考える。車争いの要因となった状況を把握する。六条の御息所の心情を理解する。
	10月	（漢文） 白楽天「長恨歌」 演習	「長恨歌」の時代背景を理解する。全体のあらすじを捉える。『源氏物語』への影響を考える。
	11月	（古文） 物語「落窪物語」 演習	王朝文学としての『落窪物語』について成立時期、内容について理解する。作品紹介などを利用して、もの物語の概要を把握する。
	12月	（漢文） 思想「人間論」 演習	諸子百家について概略を理解する。儒家の学問観について理解する。

学習の留意点・評価など	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深める。 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考え方を深め、発展させる。 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付ける。

教科名	国　語　科	科　目　名	古　典　B
対象学年	高校３年	コース・選択	コースⅢ
単位数	２単位	教　科　書 （出版社）	精選古典Ｂ 古文編・漢文編（東京書籍）
使用教材	○最新国語便覧（浜島書店） ○チャート式必修古文・古文ノート（数研出版） ○漢文必携・チェックノート（桐原書店） ○標準古典文法(第一学習社) ○読んで見て覚える古文単語３１５(桐原書店）		
学習のねらい	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	４月	（古文） 徒然草「家居のつきづきしく」	随筆文学が作者の自由な目で記されたものであり、題材・文体が多岐にわたることを理解する。隠者文学としての『徒然草』の文学史的位置を理解する。
	５月	（漢文） 三国志「赤壁之戦」	『三国志』 の特徴を理解する。語句や句法を理解し、的確に現代語訳する。文脈に即して、内容や人物について理解する。
	６月	（古文） 日記「和泉式部日記」	日記の概要、和泉式部が勅撰集入集歌の多い有名な歌人であることを学ぶ。作者のことが「女」と記される理由を考え、この日記の特徴を理解する。
	７月	（漢文） 漢詩	唐詩（近体詩）の基本となる規則と特徴を復習する。詩にうたわれた状況を理解する。詩の表現のおもしろさを理解する。
	９月	（古文） 物語「源氏物語：車争ひ」	『源氏物語』に関する知識を確認する。『源氏物語』の世界や表現のすばらしさを考える。車争いの要因となった状況を把握する。六条の御息所の心情を理解する。
	10月	（漢文） 白楽天「長恨歌」	「長恨歌」の時代背景を理解する。全体のあらすじを捉える。『源氏物語』への影響を考える。
	11月	（古文） 物語「落窪物語」	王朝文学としての『落窪物語』について成立時期、内容について理解する。作品紹介などを利用して、もの物語の概要を把握する。
	12月	（漢文） 思想「人間論」	諸子百家について概略を理解する。儒家の学問観について理解する。
	１月	（古文） 俳諧：芭蕉	五七五の短詩形文学の俳句の源流が江戸時代にあることを知り、芭蕉が俳諧文学に残した足跡を知る。芭蕉の俳諧を読み味わう。

学習の留意点・評価など	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深める。 古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考え方を深め、発展させる。 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付ける。 演習等も行いながら、入試に対する力を養う。

教科名	国　語　科	科　目　名	国 語 表 現
対象学年	高校３年	コース・選択	コースⅠ（A４）
単位数	２単位	教　科　書 （出版社）	国語表現Ⅰ（第一学習社）
使用教材	国語表現ナビ（浜島書店）		
学習のねらい	日常生活における言語活動を、語彙・技術の面を含めて豊かにする。 言語・文字を用いない表現や、舞台芸術にも目を向け、理解を含める。 現代だけでなく、日本古来の優れた表現にも目を向けさせ、興味を持たせる。 実践活動を通して、表現力を確実に身に付け、表現する楽しさを実感する。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	１学期 ４月	自分を紹介する （原稿作成・スピーチ）	①自分を客観視するために、誰か（あるいは動物、物）になって自分を語る。 ②ふさわしい言葉や場面、適切なたとえを用いて紹介原稿を作成する。 ③聞きやすい声、豊かな表現、動作で発表する。
	５月 ６月	舞台芸術における表現 （歌舞伎・ミュージカル）	①芸術鑑賞会に向けて、舞台芸術における表現に興味を持つ。 ②ミュージカルの歴史、現在の動向などについて調べ、学習する。 ③歌舞伎を鑑賞して、作法や表現などを体験し、将来に続く興味を育む。
	７月	はがきの書き方 （季節の挨拶）	①日本の季節の挨拶を知る。 ②「二十四節気」について学ぶ。 ③はがきの書き方を身につける。 ④暑中見舞いはがきを毛筆で書き、書道に対する興味をもつ。
	９月 10月	図書紹介	①自己の主張を的確に相手に伝え、相手を説得する表現力を身に付ける。 ②文章を簡潔にまとめるため、引用やキャッチコピーを効果的に活用する。 ③図書製本の各部の名称や、分類記号を学ぶ。 ④図書紹介のポスターを作成する。

	学期・月等	単　　元	留　意　点
学習内容と流れ	11月	点字を学ぶ	①言語・文字を用いた表現以外にも表現の方法があることに気付く。 ②その一つである点字を学び、身近にある点字の表現を意識する。 ③点字の歴史を知る。 ④点字を読めるようになる。 ⑤点字器を用いて点字を書く。 ⑥点字を用いたクリスマスカードを作成する。
	12月	金城歌留多を作る	①金城学院中学・高校での思い出を振り返る。 ②思い出をウイットに富んだ短い言葉で表現する。 ③卒業生全員の思い出として共有する。
	3学期 1月	手紙の書き方 （恩師に進学先の報告をする）	①手紙（便箋･封筒）の形式を学習し､用途に応じた適切な手紙を書く。 ②時候の挨拶等、季節感を表す表現を身に付ける。 ③正しい敬語の使い方を身に付ける。 ④先生に実際に手紙を書く。
学習の留意点・評価など	文章表現だけではなく、イラストや立体図形を用い、また、実践を多く取り入れて、現実に即した表現力を身に付けさせる。		
備　考	DVD等の映像教材や言語以外の表現を活用する。		

<table>
<tr><td colspan="2">教科名</td><td>国　語　科</td><td>科　目　名</td><td>現代文演習　B1</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象学年</td><td>高校３年</td><td>コース・選択</td><td>コースⅡ</td></tr>
<tr><td colspan="2">単位数</td><td>２単位</td><td>教　科　書
（出版社）</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用教材</td><td colspan="3">論理的に考える LT実践長文読解
キーワード漢字2700</td></tr>
<tr><td colspan="2">学習のねらい</td><td colspan="3">評論、小説の対策問題を扱い、テストゼミ形式の演習によって現代文の実践力を身に付ける。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">学習内容と流れ</td><td>学期・月等</td><td colspan="2">単元とねらい</td><td>留　意　点</td></tr>
<tr><td>1学期</td><td colspan="2" rowspan="2">・各学期、評論と小説を交互に取り扱う。
・評論、小説における重要語句を毎回学習し、定着につなげる。
・根拠を明確にした解法を意識して解く。
・入試問題を取り扱い、より入試本番に近い形での取り組みを行う。</td><td rowspan="2">・演習においては、20分での解答時間を厳守する。1時間で演習し、残りの1時間で解説と復習を行う</td></tr>
<tr><td>2学期</td></tr>
<tr><td colspan="2">学習の留意点・評価など</td><td colspan="3">・能動的な学びができているか。
・実力養成のための演習になっているか。
・本文などの根拠をもとに、問いを解くことが出来ているか。</td></tr>
<tr><td colspan="2">備　考</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

教科名	国　語　科	科　目　名	国 語 演 習
対象学年	高校３年	コース・選択	コースⅡ・Ⅲ（B2・C2）
単位数	２単位	教　科　書 （出版社）	―――
使用教材	共通テスト 国語対策問題集 標準から実戦へ 合冊版 (桐原書店)　ほかプリントなど		
学習のねらい	受験対策のための実力養成。 また、基礎部分の復習などを通して確実な力を定着させる。		

学習内容と流れ	学期・月等	単　　元	ね　ら　い
	４月	評論『「貨幣」というメディア』・小説『さぶ』 古文『落窪物語』・漢文『世説新語』	入試問題読解のための実際的な演習。 テスト・ゼミ方式。 ＊状況に応じて担当者の判断にて適宜変更する。
	５月	評論『遠野物語』 小説『自転車少年記－あの風の中へ－』 古文『無名草子』・漢文『捜神記』	
	６月	評論『考える身体』 小説『戯作三昧』 古文『方丈記』・漢文『隋唐嘉話』	
	７月	評論『日本人にとって美しさとは何か』 小説『風立ちぬ』 古文『風に紅葉』・漢文『国語』	
	９月	評論『スポーツ国家アメリカ』 小説『台所のおと』 古文『讃岐典侍日記』・漢文『臨安春雨初霽』	
	10月	評論『自然を守るしくみ』 小説『ひよこトラック』 古文『宇治拾遺物語』・漢文『韻語陽秋』	
	11月	評論『持続可能な医療』 小説『身投げ救助業』 古文『近代秀歌』・漢文『荘子』 入試問題（過去問）	
	12月	評論『音楽の聴き方』 紀行『歴史と文学の旅』 古文『源氏物語』・漢文『三戒』 入試問題（過去問）	

学習の留意点・評価など	定期テストにて実力問題も出題する。 また、状況に応じて小テストを設ける場合がある。